

月刊

さわやか

第12号
平成20年4月15日

《発行》
(社)日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
0421581-8171

新年度 開始 「設立30周年」へタツシユ!

平成20年度が開始しました。当センターはこの年度内に設立30周年を迎え(記念日は平成21年2月16日)、別表のように多彩な記念行事を予定しています。

前半はリサイクル・フェア、安全大会など

記念行事全体は、夏までの前半と秋の後半に大きく分かれます。前半の第1陣は、全地域班一斉清掃です。全33班がいつせいに駅前や公園などのボランティア清掃をします。この一斉清掃はもう1回、秋にもおこなわれます。

前半の主要イベントはリサイクル・フェアと「さわやか安全大会」。リサイクル・フェアは毎年恒例で今年7回目。今回は30周年を記念して、より充実したフェアを企画しています。

全地域班一斉清掃	5月18日(日)
リサイクル・フェア	6月8日(日)
さわやか安全大会	7月16日(水)
全地域班一斉清掃	11月16日(日)
会員作品発表会	11月20日(木) ~23日(日)
記念式典	11月22日(土)
設立30周年記念日	来年2月16日
生きがいフォーラム	来年3月予定

後半の開始も、やはり全地域

秋の会員作品発表会 記念式典でヤマ場へ

安全大会は、30周年記念の新しい試み。内容は、職場代表7名による安全フォーラム、軽音楽、NPO失敗学会副会長・飯野謙次氏の記念講演など。

会員数

平成20年2月29日

1,571名

男性 1,201名
女性 370名

入会者数
2月度9名
(男9名、女0名)

但し、退会者 25名

当センター人事異動

新事務局長に

池田和宣氏

当センターの谷野省三事務局長(常務理事)は本年3月末で定年退職し、代わって池田和宣氏(市職員)が4月1日から新事務局長に就任しました。池田氏の理事選出は5月30日の第56回定期総会に懸けられます。

班一斉清掃。次いで、名称と装いを新たにしたい会員作品発表会と同時に、最大のイベント「30周年記念式典」を迎えます。記念式典では民間発注者への感謝状、会員、役員、地域班長などへの表彰状の贈呈があり、第2部でアトラクションを予定しています。

なお、年明けて30周年記念日後の3月に「生きがいフォーラム」(第4回)の開催も検討しています。



池田新事務局長挨拶

会員の皆様、こんにちは。谷野局長の後任で着任いたしました。

日野で生まれ育ち、就職も日野市役所という日野一筋でございます。会員の皆様が楽しく働ける環境づくりに努めていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

谷野さん、お疲れさま

3月31日の理事会で、谷野常務理事がお別れの挨拶をしました。



中面に折込み、6ページ建て

地域班の活性化をめざして

平成19年度 第4回地区リーダー会議開く

平成19年度最後の第4回地区リーダー・担当理事合同会議が3月13日、センター事務室で開かれました。井口会長、北村副会長、谷野常務理事、高木総務部長、A～F6地区のリーダーおよび各地区担当理事が出席、田村総務部会員が司会を務めました。

議題は、「秋の地域班会議」での質問に対する回答(3～4面に掲載)について、多摩川・浅川クリーン作戦、地域班長連絡会の状況報告、20年度の地区リーダー、副リーダー、等々率直に各地区の情報を交換とくに、では、各地区リーダーから率直な状況が報告されました。たとえば、

最近、高齢者の退会が目立つ。70歳以上の会員の就業対策が切実ではないか。
この1年間のボランティア活動を総括した。高い意識をもって参加する意義を確認した。

(複数のリーダーから)

後任班長を選ぶのに苦慮している。その選任についてはセンター側の支援体制も検討してほしい。(複数のリーダーから)

新規に入会した会員については、各地域班長にその旨きちんと連絡してほしい。

地域班長の労力を軽減してほしい。たとえば、班員台帳の管理やボランティア・ジャンパーの貸与など。

これに対し井口会長からは、「それぞれ検討し、改善しなければならぬ問題であるが、とりわけ班長の後任選びは、地域班の活性化とも大きく関わる事柄であり、センター全体の課題である」との発言がありました。

当センターのホームページが4月からリニューアルしました。ぜひご利用ください。アドレスは

<http://www.hinocatv.ne.jp/~hsc/>



フリーマーケット風景(H20.3.29)

スプリングフェスタひのフリーマーケット出店

ティッシュリーダー千組配布

今年の「スプリングフェスタひの」(3月29、30両日)に当センターの会員5グループがフリーマーケットを出店しました。桜満開の下、日野中央公園の芝生広場に面した通路一帯に衣類や日用品の店が並び、祭り客で賑わいました。

その一角で、広報部会が2日間にかわってセンターPRの活動を展開。シルバー人材センターのティッシュリーダーフレット1000組を配りました。受け取って直ぐリーフに見入る方、質問する方も大勢いました。

理事会ニュース

第14回理事会 3月31日
・審議事項 正会員の入会、職員給与規定の一部改正
・報告事項 2月度事業運営状況、各専門部会・安全管理委員会の活動報告

「センター行事日程」

4月15日(火) 地域班長会議
 生活・保健センター
4月17日(木) 第2回会員作品発表会実行委員会「センター会議室」
5月15日(木) 地域班長会議
 生活・保健センター

女性委員会、昭島SCを訪問

女性委員会は3月17日、昭島シルバー人材センター(SC)を訪問し、家事援助、子育て支援等を研修しました。

配分金の支払日

4月18日(金)
5月20日(火)
6月20日(金)
7月18日(金)
8月20日(水)
9月19日(金)
10月20日(月)

地域班会議での質問に

お答えします(第2弾)

先に、平成19年度の「春の地域班会議」で各班から寄せられた質問に対する回答29項目を『シルバーひの』昨年10月号(172号)に掲載しました。今回はその第2弾として、「秋の地域班会議」で寄せられた質問から10項目にわたって本紙でお答えします。

1 就業の年齢制限について、

『シルバーひの』172号を読んで理解しているが、72歳を超えても働く意欲が旺盛で、しかも五体満足であり、判断力・決断力・行動力を保持し、一般常識も備えている会員もいます。そこで、72歳以上であつても働く意欲のある会員に対し、定期的に面接して再就業させるよう、再度検討できないか？

回答 年齢制限は、発注者からの要望とセンターの安全管理上の見地から、規定したものです。おつしやるとおり、72歳以上でも元気な方は大勢いらっしゃると思います。しかし、72歳以上の会員に面接することは、対象者が約500

人もおり、物理的に困難です。また、面接だけで健康を客観的に評価することも難しいことです。年齢制限のない職場は沢山ありますので、センターで相談されるなどして、積極的に就業活動をしていただきたいと思ひます。

2

『広報ひの』(昨年11月15日号)に平成19年度行政評価システムが掲載され、今回の評価は、所管部署による評価、庁内行財政推進本部による評価、公募市民による評価の3段階でおこなつたとあるが、シルバー人材センターがどういふ評価になつていふのか分からない。明確な回答をお願いしたい。

回答 旅行の費用は、食事代に左右されます。今回のバス旅行は5500円のうち、食事代に3500円かかっています。今後ともより良いバス旅行を企画してまいります。

回答

とについては、A) Eの5段階でB評価(現状でよい)でした。についてはD評価と、たいへん厳しい評価でした。詳しいことは市内の各図書館で見るか、市ホームページを見てください。

3

家事援助の仕事をしているが、今までこれに関する会議、講習会、またマニュアルもない状態です。ぜひ検討してもらいたい。

回答

家事援助については、これからどのように取り組んでいくか、現在、女性委員会で検討しています。順次、会員の皆様に情報を提供してまいります。

4

前回の会員研修旅行について。バス代はセンター負担とのことだが、よそのバスツアーとくらべ高いのではないか？

回答 旅行の費用は、食事代に左右されます。今回のバス旅行は5500円のうち、食事代に3500円かかっています。今後ともより良いバス旅行を企画してまいります。

5

就業率について。「1カ月何日・何時間働いた者」というように細分化してはどうか？

回答

就業率の出し方は、全国のシルバーが同じ方法で行っています。ご意見のことは、容易に答えを出せるようなシステムになっていませんので、大変難しい問題です。

6

定期総会が年2回開催されている理由は何か？

回答

東京都の場合は、「都知事の所管に属する公益法人の設立許可審査基準」(9総行指第12号「平成9年5月1日」)により、「公益法人の総会は年2回以上開催する」と定められているからです。しかし、他の府県では年1回がほとんどです。

7

民間の職場は、就業後も職場訪問をし、問題点や意見の吸い上げを実施すべきではないか。事務費を5~10%も取っているのだから当然では？

回答 職場訪問することなどを前向きに検討してまいります。

8 仕事をしていない人を含めて保険料(シルバー保険の)をかけているのは、もつたないのでは？

回答 シルバー団体傷害保険は、毎月末の会員数の年平均値が算定基準になっていますので、就業、未就業にかかわらず、全員に課せられるものです。

しかも、この保険は、地域班会議やボランティア活動、定期総会などに行く会員にも適用されますので、必ずしも仕事をしている会員だけの保険ではないということです。

9 ボランティア活動で自分たちの地域以外の清掃をするのは問題ないか？

回答 とくに問題はありませんが、実施する際は、隣接する地域班長には事前に連絡された方がよいと思います。

10 地域の草取り・清掃などのボランティア活動参加者に、

ペットボトル1本(120円)の飲み物を支給したらどうか？

地域班会議の出席者にはお菓子代(500円相当)が支給されているので、これを減額して、差額をボランティア活動分にあてたらどうか？ または、地域班会議出席とボランティア活動参加との間の差をなくし、双方にペットボトル1本(120円)を支給するのはどうか？

回答 平成20年度の事業計画と予算では、全地域班による一斉清掃(年2回)の実施に飲み物を提供する予算を計上しています。地域班会議費用の減額については、広く意見を聞いて検討します。

参加者は計285名に2年ぶり増加 第55回定期総会

第55回定期総会の会場参加者数は、開始時の集計で248名でしたが、最終的に285名となりました。最近では、平成18年3月の第51回定期総会の302名に次ぐもので、2年ぶりの増加となりました。

第55回定期総会 議案質問への回答

質問者 坂 義雄氏

1 第2号議案について、

「就業の質を向上させ、顧客満足度を高める」とは、職場マニユアルを見直すことか？ 職場リーダー会議・職場会議の回数と費用、地区班組織の見直しと30周年行事の具休案は？

回答 発注者から委託された仕事を、仕様書・マニユアルどおり実施して、発注者や利用者に満足していただく。就業の質を高めるためにマニユアルを見直すことは常に必要です。 職場リーダー会議は

2 第3号議案について、「賃借支出」とは何か？

回答 最も大きいものは車両リース代。その他事務所OA機器印刷機、コピー機、プロジェクターなどのリース代、会員研修旅行のバス借用料など。

傘寿迎えた会員を祝賀

第55回定期総会(3月7日)では、平成19年度に傘寿(80歳)を迎えられた会員13名に、井口会長から賞状と記念品が贈られました。下記の方々です。(50音順・敬称略)

- 相川 廣正 (南平3)
- 青木 平治 (大坂上)
- 石井 直 (豊田)
- 井上 勝郎 (日野本町)
- 大高 誠 (万願寺1)
- 小野 廣雄 (百草台)
- 小峰 覚 (南が丘・南平台)
- 千葉 健二 (日野4)
- 三原 博明 (南が丘・南平台)
- 元石 哲義 (南平3)
- 山下 武夫 (日野1)
- 山田 初夫 (日野2)
- 米山 薫 (豊田)

4月実施

配分金の毎月20日支払いに

ご理解とご協力をお願いします

配分金の支払日は、新年度から毎月20日となります。ただし当日が土曜日か日曜日の場合は、一両日繰り上げます(土曜日の場合は19日、日曜日の場合は18日)。

これまでは、支給日は原則15日でした(当日が土日の場合は一両日繰り上げ)。これを原則20日に遅らせていただきたいというセンターの要望については、昨年の「春の地域班会議」以来、さまざまな機会を通して会員の皆様にお伝えしてきました。

『シルバーひの』昨年10月号の特集「地域班会議での質問にお答えします」でも取り上げ(3頁第16項)、ご理解を求めました。

20日支払いにさせていただく理由は、すでにお伝えしてまいりました。契約金入金までの配分金立替払いの資金繰りに苦慮、新規契約増加に伴う配分金計算事務の増大です。改めて

皆様のご理解とご協力をお願いします。

実際の支払日については、毎月本紙でお知らせします。

「団塊世代ウェルカム!日野」 集会で 当センターが PR活動

「団塊世代ウェルカム!日野」と銘打った集会在、2月24日(日)福祉支援センターで、さらに3月16日(日)多摩平の森ふれあい館で、2回にわたって開催されました。「日野団塊世代広場」という最近設立された団体と市企画調整課の共催です。集会は1部と2部に分かれ、1部は「こんな地域を創りたい」

と題する討論会、2部は地域団体の活動報告。この2部に日野市シルバー人材センターも参加し、高木理事(総務部会長)がセンターの現状紹介をしました。集会の趣旨は団塊世代の地域参加への応援。1部では主催者の呼びかけで参加した個人約30人がグループに分かれて討論し、2部で地域10団体ほどが入会のお誘いをする催しでした。

「日野団塊世代広場」とは

団塊世代の地域参加応援のための市の協力を得て平成18年7月に有志が設立。いま「新しい地域の仕組みづくり」に取り組んでいます。



センターの紹介をする高木理事(H20.3.16)

就業情報は別冊に掲載

サークル紹介

日野彩友会

平成14年1月、「シルバー日野彩友会」として発足。その後非会員のメンバーも迎え現在の名称に。メンバーは現在17名(会員は7名)。月2回定例会(昨年11月、会として最初の水彩画作品展を開催。講師は林猛先生。世話人「松坂壽之氏」(593 4379)。

それってなに? シルバー保険

団体傷害保険のこと。ほかに賠償責任保険もあり、合わせて「シルバー総合保険」といいます。会員は入会すると同時に、シルバー保険に加入します。保険料(傷害)は現在一人年額2270円。賠償責任保険は個々の会員でなく団体に掛けられます。いずれも全額センターが負担しています。シルバー保険の適用は就業中や就業途上だけでなく、定期総会、地域班会議、ボランティア活動などに参加する会員にも適用されます。

「軽微」な事故の多発が危ない！ 平成19年度 計11件発生 ハインリヒの法則(1:29:300)を想起しよう

当センターの平成19年度事故件数は、傷害2件、賠償3件の計5件で、最近では最も少ない数値になっています。しかし、その背後で下表のように、事故件数には入れられない「軽微」な事故が年間11件起きていることを、見落とすわけにはいきません。

軽微な事故も多発すれば、大きな事故につながる恐れがあります。“1件の死亡事故の背後に29件の負傷事故、300件のニアミスがある”というハインリヒの法則(本紙第2号=6/15付=4面参照)を想起して、「軽微」事故やニアミスをなくすよう心がけましょう。

「軽微」事故一覧表(平成19年度)

月日	当事者	仕事の内容	事故の概要
4/04	71歳男性	清掃作業	小便器のゴミ取部品を取外し中、誤って落して破損。
4/17	66歳男性	介護送迎	送迎車をブロック塀に接触させ、車右後部を一部損傷。
4/17	62歳男性	介護送迎	送迎車を境界ポールに接触させ、フロント左部を損傷
4/25	65歳男性	介護送迎	送迎車のバック中に靴がつかえ、ブレーキ操作遅れて、バックランプ破損。
8/27	68歳男性	清掃作業	医療物の処理中、不燃物として捨てる際、注射針を誤って手に刺した。
10/31	72歳男性	草刈り作業	脚立を車に登載中、はみ出た脚立に前から来た車のドアミラーが接触し破損。
1/18	66歳女性	室内清掃	老人ホーム居室のタンス天板を拭き掃除中、天板上の絵画を落下、額縁損傷。
2/13	65歳男性	公共施設配送	構内から車道に出る際、低いコンクリートポールに接触、車の泥除け破損。
2/20	62歳男性	植木剪定作業	車の荷台から二連梯子を降ろす際、誤って落下させバックミラーを破損。
2/28	67歳男性	交通整理	早朝就業現場に向かう途中、一時停止確認不足でバイク同士接触し転倒。
3/12	69歳男性	草取作業	花の運搬中、作業所内でトラックをバックして、木製門扉を破損。

ゴルフ愛好さくら会が 今年初のコンペ実施

発足以来、6年目の春を迎えた平成20年第1回さくら会コンペを3月27日、大月市(山梨県)の花咲カントリー倶楽部で開催しました。さくら会にふさわしく巷の桜は満開で、6組21人が「我こそ優勝」と期待を胸に参加しました。

今回からは、2年間据え置いたハンディキャップの改正の年で、「誰でも優勝のチャンスあり」の中、和気あいあいの内に楽しいプレーが展開されました。さくら会のレベルは高く、80台で回った人が8人もいました。ちなみに優勝者は清水渡氏(日野1班)。(横関・記)



「さくら会」ゴルフ・コンペ

お元気ですか

第3回「生きがいフォーラム」(3月8日)は大盛況でした。参加をご遠慮いただいた会員の皆様には恐縮ですが、会場いっぱいのお客様は、主催者冥利に尽きます。とくに女性客が多かったのも特徴でした。

高齢者の生き方を考える場の提供。いわばこれが「フォーラム」の目的です。講師の岡幸江さんは「今や新しい高齢者の生き方、21世紀型高齢者モデルを創り出していく時代」と言いました。その核心は仲間づくり、ボランティア活動、仕事の三つで、「この三つの組み合わせのいい例がシルバー人材センターです」と。

毒蝮三太夫さんの講演は、これぞ「مامシ流」の漫談調。政治批判あり、社会風刺あり、芸能界の裏話からご自身の闘病生活まで、まるで話の万華鏡です。その端々で高齢者に言及し、「楽しく生きよ」「高齢者は社会の役に立つ」と激励。「親の面倒をみたら介護ヘルパーの免許をあげるべきだ」との具体的な提案もありました。(T)